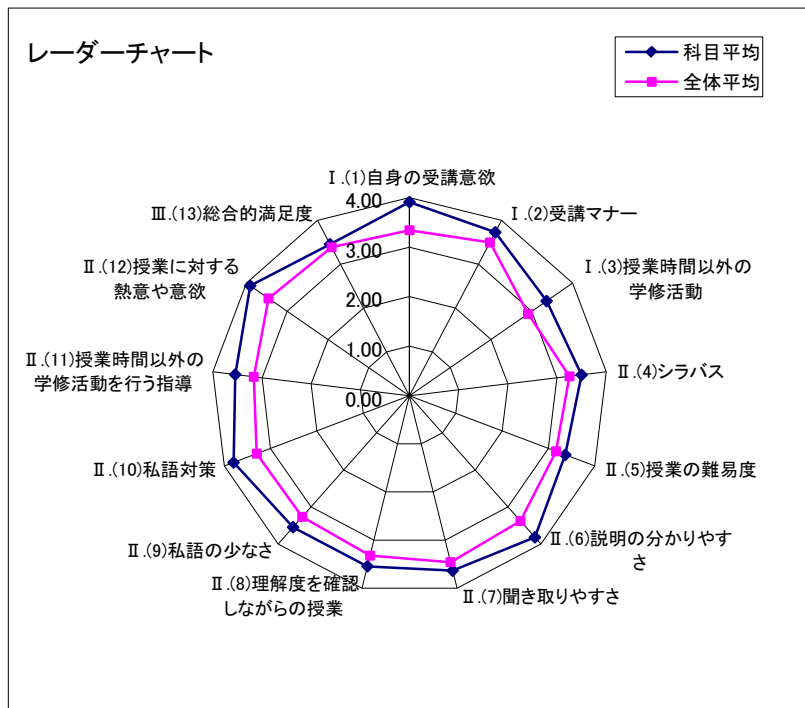
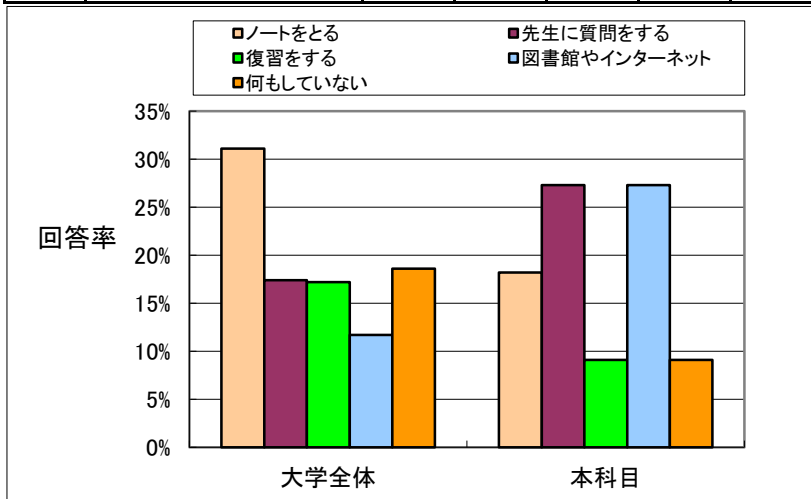


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	18.2	27.3	9.1	27.3	9.1



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.91	3.34
	I.(2)	3.73	3.49
	I.(3)	3.36	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.50	3.26
	II.(5)	3.36	3.16
	II.(6)	3.82	3.38
	II.(7)	3.64	3.46
	II.(8)	3.55	3.32
	II.(9)	3.55	3.27
	II.(10)	3.80	3.30
	II.(11)	3.55	3.17
	II.(12)	3.91	3.46
	総合評価	III.(13)	3.45

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.67	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.63	3.31
総合評価 III.(13)	3.45	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	2112
科目名	デザイン基礎/デザイン演習
教員名	

①授業計画の達成度について
 授業計画に概ね、沿った良好な授業展開であった。しかし、達成度となると、必ずしも満足したものではなかった。デザインに興味を示す学生が少なく、形式的な授業になったことを反省している。受講生ははじめで、熱心な学生が多いたので、授業自体、教えることが楽しかったが、その効果、達成度はこちらが予測したものより低かった。

②授業の進め方について
 授業の進め方は、シラバスにあるように、個人指導であった。しかし、学生のテンションの違いから、思うように個人指導、対話授業ができなかった。個人指導の難しいところである。学生のポテンシャルを引出、テンションを高めるというところまではいかなかった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 なかなか個人指導の在り方、対話授業が難しく、受講生のほうもテンションを維持しかねるところがある。自己評価としてはこの対話授業でいかにテンションを維持できるかがテーマである。一方的に話すのではなく、聞くことに重点を置きたいと考えている。